

◆ 会津坂下町商工会 ◆

企業景況調査

平成 29 年 7 月～9 月期

目 次

今期の特徴点	1
製造業	2
小売業	5
建設業	8
サービス業	11
農業	14
参考資料	17
中小企業景況調査 転記表	18

会津坂下町商工会

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

今期の特徴点 (平成 29 年 7 月～9 月期)

製造業

業況は好調感が極端に強まった。売上（加工）額、受注残はともに増加がかなり強まり、採算（経常利益）は前期並となった。原材料仕入単価は上昇が大きく弱まり、売上(加工)単価は前期並の水準となった。原材料在庫数量は前期並の過剰感が続いた。資金繰りは前期並となった。

小売業

業況は前期並となった。売上額は極端に減少が弱まり、採算(経常利益)は大きく持ち直した。客単価は大きく下降が弱まり、商品仕入単価は大きく上昇が弱まった。商品在庫数量は不足感がかなり強まった。資金繰りは窮屈感が大きく緩和した。

建設業

業況は大きく低調感が強まった。完成（請負工事）額は大きく減少に転じ、採算（経常利益）はかなり改善した。契約残（未消化工事高）は極端に減少に転じた。受注（新規契約工事）額は極端に下降に転じ、材料仕入単価は前期同様の上昇が続いた。資金繰りは前期同様の容易さが続いた。

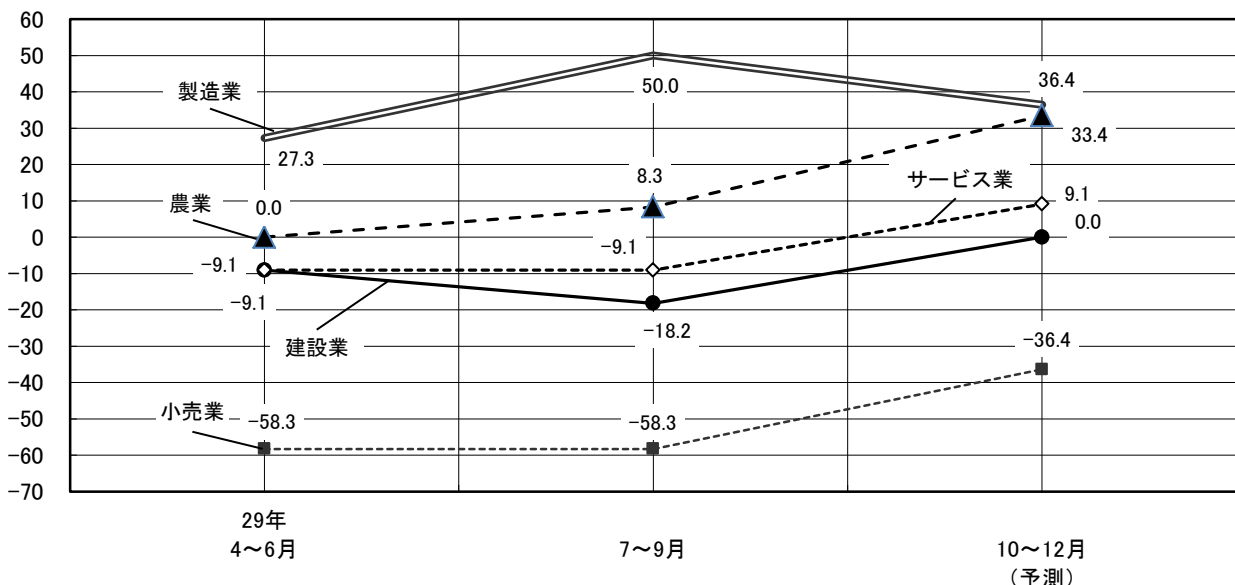
サービス業

今期の業況は前期並の低調感が続いた。売上（収入）額は極端に減少が強まり、採算（経常利益）は大きく持ち直した。客単価は下降から上昇へ極端に転じ、仕入単価（材料等）は大きく上昇が強まった。資金繰りは大きく容易さを増した。

農業

業況は大きく好調感が強まった。売上額は増加幅が大きく縮小し、採算（経常利益）はかなり増加幅が拡大した。売上単価は下降から上昇に極端に転じ、原材料仕入単価は上昇がかなり強まった。資金繰りは窮屈感が大きく強まった。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業

売上額・利益の動向と業況判断

業況（27→50）は好調感が極端に強まった。売上（加工）額（18→27）、受注残（10→25）はともに増加がかなり強まり、採算（経常利益）（18→18）は前期並の増加が続いた。

価格・在庫動向

原材料仕入単価（50→40）は上昇が大きく弱まり、売上（加工）単価（0→0）は前期並の水準となった。原材料在庫数量（20→20）は前期並の過剰感が続いた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り（0→0）は前期並となった。また、借入難度は、長期資金借入難度（0→△17）は厳しさが大きく強まり、短期資金借入難度（14→0）は容易さが大きく縮小した。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「製品ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」「原材料価格の上昇」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「製品（加工）単価の低下・上昇難」「従業員の確保難」がいずれも36.4%、2位「人件費の増加」が27.3%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合（対象企業が最重要視している割合）をみると、「製品ニーズの変化への対応」「生産設備の不足・老朽化」「原材料価格の上昇」が20.0%と最も高く、これに次いで「人件費の増加」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「製品（加工）単価の低下・上昇難」「需要の停滞」がいずれも10.0%で比較的高い割合となった。

来期の見通し

来期は、業況は好感が大きく後退し、売上（加工）額は増加が大きく弱まり、採算（経常利益）は今期同様の増加幅と見込まれている。原材料仕入単価は今期同様の上昇が続き、売上（加工）単価は上昇が極端に強まると予測されている。

《注》

◆製造業各DI値の今期の状況は下記を参照している。

業況DI、売上（加工）額DI、採算（経常利益）DI、受注残DI、
原材料仕入単価DI、売上（加工）単価DI、原材料在庫数量DI、資金繰りDI

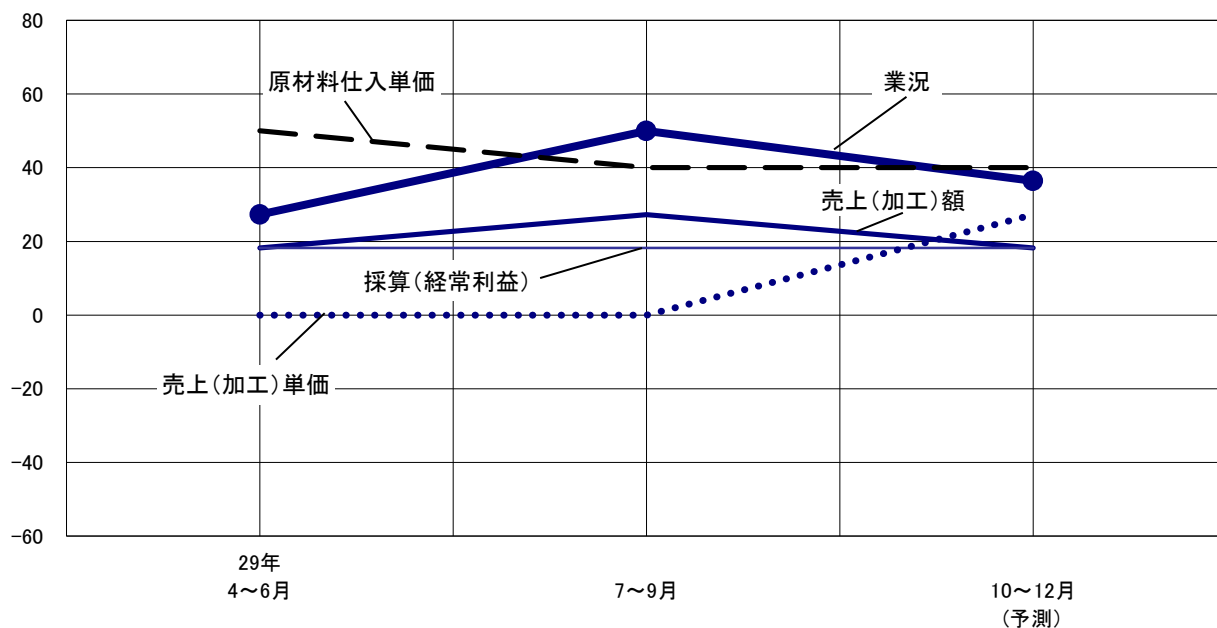
：前年同期比

借入難度DI（長期資金借入難度、短期資金借入難度）

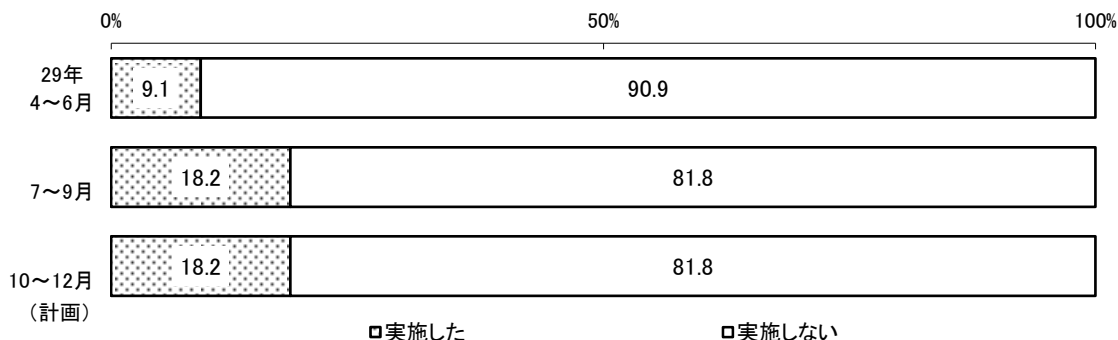
：前期比

◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種DIを比較している。

業況と売上（加工）額、採算（経常利益）、売上（加工）単価、原材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向（％）



経営上の問題点（％）

順位	29年4～6月期	全体		29年7～9月期	全体	
		割合	うち最も重要視している割合		割合	うち最も重要視している割合
第1位	製品ニーズの変化への対応	45.5 %	27.3 %	製品ニーズの変化への対応	36.4 %	20.0 %
	生産設備の不足・老朽化	45.5 %	18.2 %	生産設備の不足・老朽化	36.4 %	20.0 %
	製品(加工)単価の低下・上昇難	45.5 %	18.2 %	原材料価格の上昇	36.4 %	20.0 %
	原材料価格の上昇	45.5 %	0.0 %	原材料費・人件費以外の経費の増加	36.4 %	10.0 %
				製品(加工)単価の低下・上昇難	36.4 %	10.0 %
第2位	人件費の増加	18.2 %	18.2 %	従業員確保難	36.4 %	0.0 %
	需要の停滞	18.2 %	9.1 %			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	18.2 %	0.0 %	人件費の増加	27.3 %	10.0 %
	従業員確保難	18.2 %	0.0 %			
第3位	原材料の不足	9.1 %	9.1 %	その他	18.2 %	0.0 %
第4位				需要の停滞	9.1 %	10.0 %
第5位						

コメント《製造業》

1. 原油高による燃料価格の上昇と諸資材の価格上昇により採算が悪化傾向にある。また秋以降に実施される宅配便の値上げもあり、商品価格の改定（値上げ）が急務であると考えている。
2. 税の上昇及び商売基準規制強化により負担を強いられる状況にある。
3. 先は判らないが、現状は好転している。
4. 前期よりは少しであるが好転している。
5. 積極的に設備投資を行った結果、生産性が上がった。
6. インポート商品の入荷が、他産地、商社でも悪く、納期のない引き合い（単価の低い商品）が増えてきている。

小 売 業

売上・収益の動向と業況判断

業況(△58→△58)は前期並となった。売上額(△92→△58)は極端に減少が弱まり、採算(経常利益)(△67→△50)は大きく持ち直した。

価格・在庫動向

客単価(△67→△50)は大きく下降が弱まり、商品仕入単価(50→25)は大きく上昇が弱まった。商品在庫数量(△33→△42)は不足感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△67→△50)は窮屈感が大きく緩和した。また、借入難度は、長期資金借入難度(△27→△27)、短期資金借入難度(△33→△33)ともに前期同様の厳しさが続いた。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「大型店・中型店の進出による競争の激化」「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化への対応」がいずれも54.5%、2位「仕入単価の上昇」が36.4%、3位「販売単価の低下・上昇難」が27.3%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合(対象企業が最重要視している割合)をみると、1位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」「購買力の他地域への流出」、2位の「仕入単価の上昇」がいずれも25.0%と割合が高い。

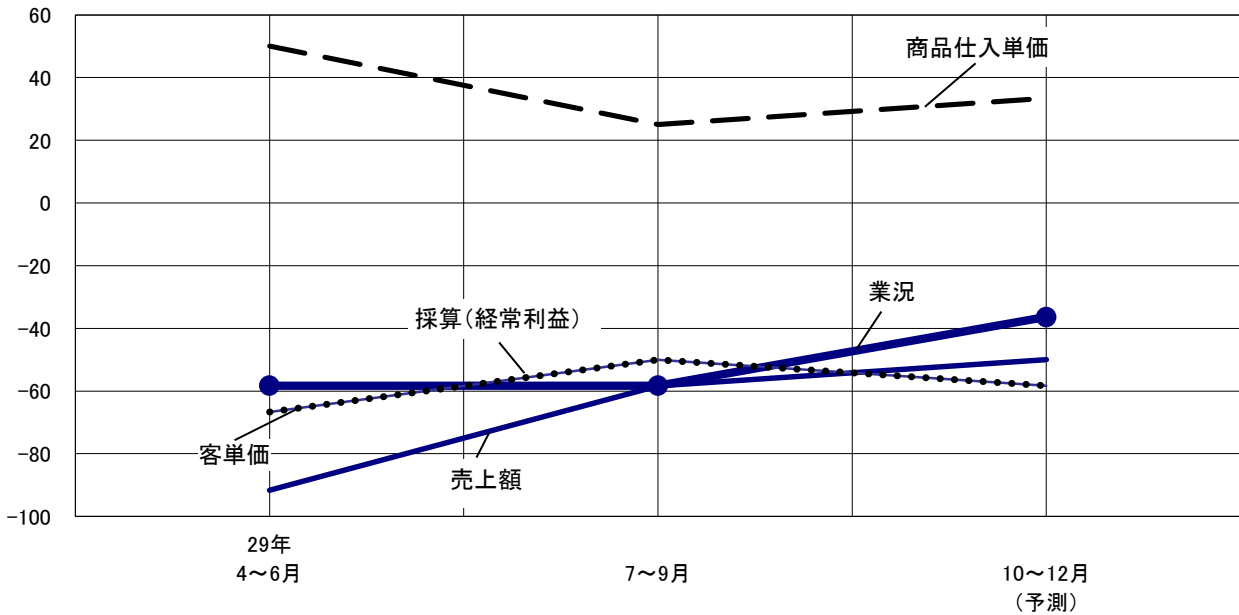
来期の見通し

来期は、業況は極端に改善し、売上額は大きく持ち直す一方、採算(経常利益)は大きく減少が強まると見込まれている。客単価は下降が大きく強まり、商品仕入単価は上昇が大きく強まると予測されている。

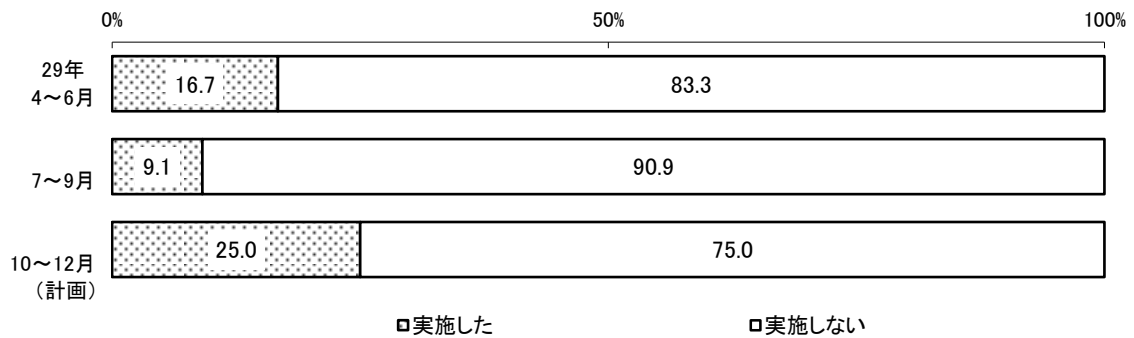
《注》

- ◆小売業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。
業況D I、売上額D I、採算(経常利益)D I、
商品仕入単価D I、客単価D I、商品在庫数量D I、資金繰りD I
：前年同期比
借入難度D I(長期資金借入難度、短期資金借入難度)
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

業況と売上額、採算（経常利益）、客単価、商品仕入単価の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向（％）



経営上の問題点（％）

順位	問題点	29年4～6月期		29年7～9月期		
		全体	うち最も重要視している割合	全体	うち最も重要視している割合	
第1位	購買力の他地域への流出	41.7 %	25.0 %	大型店・中型店の進出による競争の激化 購買力の他地域への流出 消費者ニーズの変化への対応	54.5 % 54.5 % 54.5 %	25.0 % 25.0 % 0.0 %
	大型店・中型店の進出による競争の激化	33.3 %	25.0 %	仕入単価の上昇	36.4 %	25.0 %
	需要の停滞	33.3 %	16.7 %			
仕入単価の上昇	33.3 %	8.3 %				
販売単価の低下・上昇難	33.3 %	0.0 %				
第3位	店舗の狭隘・老朽化	25.0 %	0.0 %	販売単価の低下・上昇難	27.3 %	8.3 %
第4位	従業員の確保難	16.7 %	8.3 %	事業資金の借入難	18.2 %	8.3 %
	人件費の増加	16.7 %	0.0 %	従業員の確保難	18.2 %	8.3 %
	消費者ニーズの変化への対応	16.7 %	0.0 %	店舗の狭隘・老朽化 需要の停滞	18.2 % 18.2 %	0.0 % 0.0 %
第5位	商品在庫の過剰	8.3 %	8.3 %	その他	9.1 %	0.0 %
	同業店の進出	8.3 %	0.0 %			
	人件費以外の経費の増加	8.3 %	0.0 %			
	事業資金の借入難	8.3 %	0.0 %			

コメント《小売業》

1. 業種、業態の差別が無くなっていて、売れる物は何でも取扱う時代となっていると思う。コンビニ、ドラッグストアの進出が大きい。
2. 可もなく不可もなく、現状維持する為毎日頑張っている。
3. 原発事故後のショックがだいぶやわらぎ、各河川の状況もやや好転しているように思うが、依然他県からの客足は完全には戻っておらず、福島県の川の釣券を買うのに抵抗を感じる方もまだ多いように思う。

建設業

売上・収益の動向と業況判断

業況(△9→△18)は大きく低調感が強まった。完成(請負工事)額(8→△8)は大きく減少に転じ、採算(経常利益)(△25→△8)はかなり改善した。契約残(未消化工事高)(9→△30)は極端に減少に転じた。

価格動向

受注(新規契約工事)額(8→△17)は極端に下降に転じ、材料仕入単価(42→42)は前期同様の上昇が続いた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(9→9)は前期同様の容易さが続いた。また、借入難度は、長期資金借入難度(9→0)、短期資金借入難度(9→0)ともに容易さが大きく縮小した。

経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位~3位を含めた全体の順位では、1位「従業員の確保難」が80.0%、2位「熟練技術者の確保難」が50.0%、3位「官公需要の停滞」が40.0%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合(対象企業が最重要視している割合)をみると、1位の「従業員の確保難」、3位の「官公需要の停滞」が、ともに同率の30.0%で最も高くなっている。また、4位の「請負単価の低下・上昇難」も20.0%と比較的高い割合となっている。

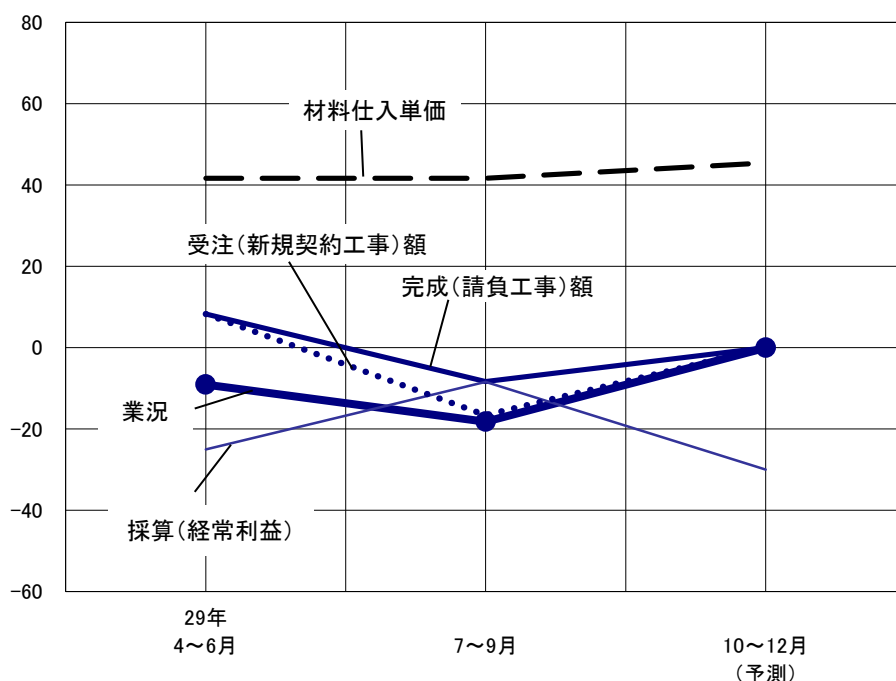
来期の見通し

来期は、業況は大幅に改善し、完成(請負工事)額は減少が大きく弱まる一方、採算(経常利益)は減少が極端に強まると見込まれている。受注(新規契約工事)額は下降が大きく弱まり、材料仕入単価は上昇がやや強まると予測されている。

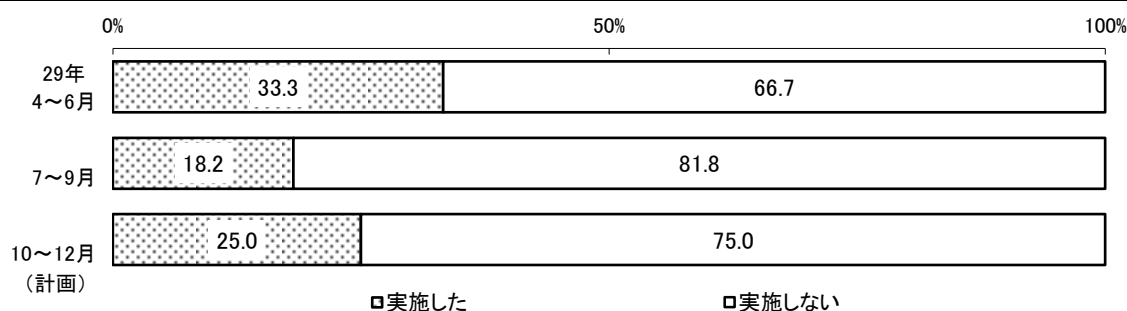
《注》

- ◆建設業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。
業況D I、完成(請負工事)額D I、採算(経常利益)D I、
契約残(未消化工事高)D I、受注(新規契約工事)額D I、材料仕入単価D I、
資金繰りD I
：前年同期比
借入難度D I(長期資金借入難度、短期資金借入難度)
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

業況と完成（請負工事）額、採算（経常利益）、受注（新規契約工事）額、材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向（％）



経営上の問題点（％）

順位	29年4～6月期	全体		29年7～9月期	全体	
			うち最も重要視している割合			うち最も重要視している割合
第1位	従業員の確保難	63.6 %	18.2 %	従業員の確保難	80.0 %	30.0 %
第2位	官公需要の停滞	36.4 %	36.4 %	熟練技術者の確保難	50.0 %	0.0 %
	熟練技術者の確保難	36.4 %	0.0 %			
第3位	請負単価の低下・上昇難	27.3 %	18.2 %	官公需要の停滞	40.0 %	30.0 %
	下請業者の確保難	27.3 %	0.0 %			
第4位	材料費・人件費以外の経費の増加	18.2 %	9.1 %	請負単価の低下・上昇難	30.0 %	20.0 %
	材料価格の上昇	18.2 %	0.0 %			
第5位	大企業の進出による競争の激化	9.1 %	9.1 %	下請業者の確保難	20.0 %	0.0 %
	下請単価の上昇	9.1 %	9.1 %			
	取引条件の悪化	9.1 %	0.0 %			
	民間需要の停滞	9.1 %	0.0 %			

コメント《建設業》

1. 人材不足が深刻で、受注高を増やす計画をしにくい。又、公共工事の発注減により、仕事（受注する）が減少している。
2. 4～6月期と同じ。
3. 官公庁の発注量の減少。
4. 若手の人材がない。
5. 季節によって仕事のバラつきがある。年間を通して平均的に仕事があると良い。
6. 求人を出してもなかなか職人希望者がいない。職人の高齢化が進んでおり、このままでは職人不足で仕事の受注すら出来なくなってしまう。若い人が入ってこない、どうしようもない。

サービス業

売上・収益の動向と業況判断

今期の業況（△9→△9）は前期並の低調感が続いた。売上（収入）額（△10→△50）は極端に減少が強まり、採算（経常利益）（△18→△10）は大きく持ち直した。

価格動向

客単価（△10→10）は下降から上昇へ極端に転じ、仕入単価（材料等）（27→40）は大きく上昇が強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り（0→10）は大きく容易さを増した。借入難度は、長期資金借入難度（22→10）、短期資金借入難度（25→11）ともに大きく容易さが縮小した。

経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「従業員の確保難」が55.6%、2位「材料等仕入単価の上昇」「利用者ニーズの変化への対応」「店舗の狭隘・老朽化」が同率の44.4%、3位「熟練従業員の確保難」「需要の停滞」が同率の22.2%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合（対象企業が最重要視している割合）をみると、2位の「材料等仕入単価の上昇」（33.3%）が、1位の「従業員の確保難」（22.2%）を超え、高い割合となっている。

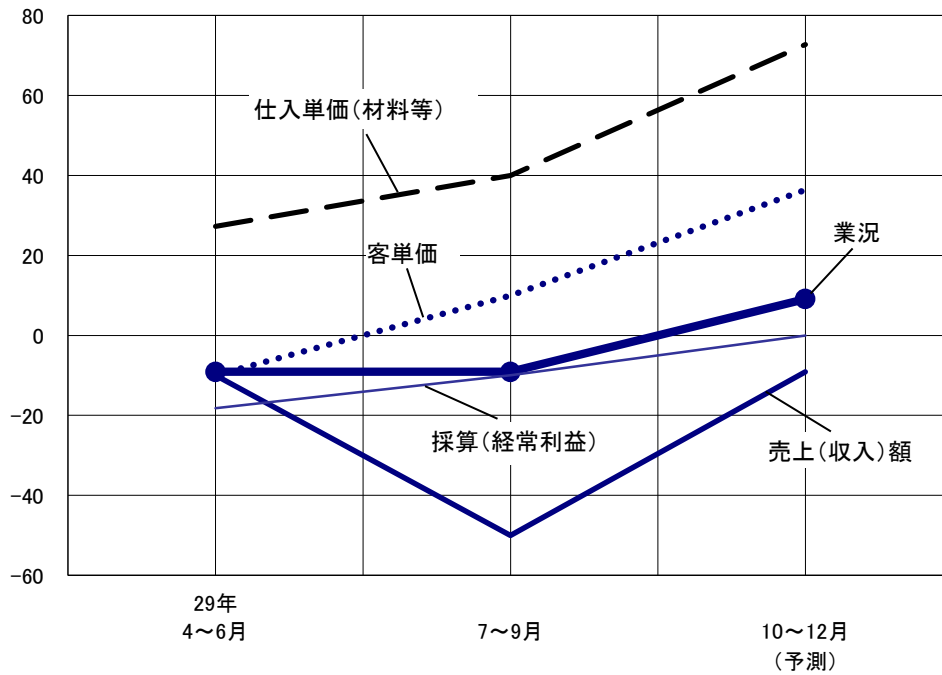
来期の見通し

来期は、業況は大きく好転し、売上（収入）額は極端に減少が弱まり、採算（経常利益）は大きく持ち直すと予測されている。客単価、仕入単価（材料等）はともに上昇が極端に強まると見込まれる。

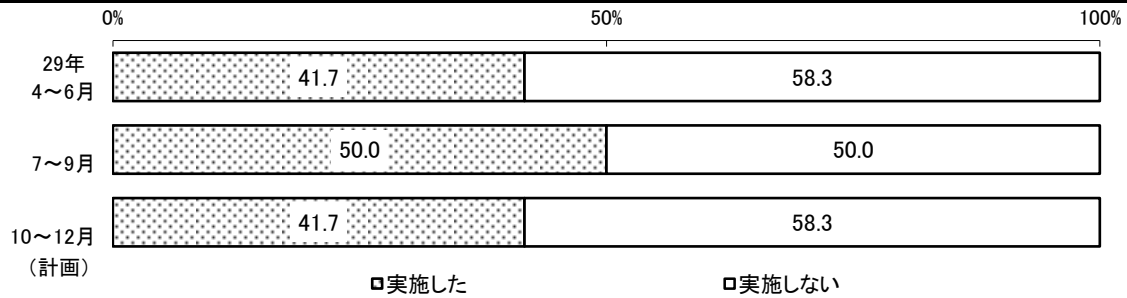
《注》

- ◆サービス業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。
業況D I、売上（収入）額D I、採算（経常利益）D I、
客単価D I、仕入単価D I、資金繰りD I
：前年同期比
借入難度D I（長期資金借入難度、短期資金借入難度）
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

業況と売上（収入）額、採算（経常利益）、客単価、仕入価格（材料等）の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向（％）



経営上の問題点（％）

順位	29年4～6月期	全体		29年7～9月期	全体	
			うち最も重要視している割合			うち最も重要視している割合
第1位	従業員の確保難	55.6 %	11.1 %	従業員の確保難	55.6 %	22.2 %
第2位	利用者ニーズの変化への対応	44.4 %	22.2 %	材料等仕入単価の上昇	44.4 %	33.3 %
	店舗の狭隘・老朽化	44.4 %	22.2 %	利用者ニーズの変化への対応	44.4 %	11.1 %
第3位	店舗の狭隘・老朽化	44.4 %	22.2 %	店舗の狭隘・老朽化	44.4 %	11.1 %
	人件費の増加	22.2 %	22.2 %	熟練従業員の確保難	22.2 %	11.1 %
	熟練従業員の確保難	22.2 %	22.2 %	需要の停滞	22.2 %	11.1 %
第4位	材料等仕入単価の上昇	22.2 %	0.0 %	新規参入業者の増加	11.1 %	0.0 %
	新規参入業者の増加	11.1 %	0.0 %	需要の停滞	11.1 %	0.0 %
第5位	需要の停滞	11.1 %	0.0 %	人件費の増加	11.1 %	0.0 %

コメント《サービス業》

1. 材料等仕入単価の上昇があり、その上昇分を売上単価に転嫁することが困難である。売上単価を上げると、客離れが懸念される。
2. 今期の天候不順は影響が大きい。7月初旬の猛暑、夏休み時期の天気不安定の状態は客足に歯止めがかかってしまう。農作物にも多大な損害を与える為、物価上昇、利幅減、値上げにも限界がある。予約客を重視したい。
3. 固定客が定着し安定した売上を維持することができて、これからの取り組みが結果につながると思う。スタッフ教育・人材育成の部分の強化の時だと思う。
4. 現状は、少しずつ好転していると感じている。
5. 今のところ特に感じることはない。
6. 安定して仕事があればいいが、土日祝日に集中するため従業員の確保が難しい。施設、設備が古くなってきているため修理しながら使っているが、修理がきかなくなったらと思うと心配。

農 業

売上・収益の動向と業況判断

業況（0→8）は大きく好調感が強まった。売上額（17→8）は増加幅が大きく縮小し、採算（経常利益）（0→8）はかなり増加幅が拡大した。

価格動向

売上単価（△8→25）は下降から上昇に極端に転じ、原材料仕入単価（8→17）は上昇がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り（0→△8）は窮屈感が大きく強まった。借入難度は、長期資金借入難度（9→0）は容易さが大きく縮小し、短期資金借入難度（0→0）は前期並となった。

経営上の問題点・重点経営施策

今期直面している経営上の問題点については、1位～3位を含めた全体の順位では、1位「消費者ニーズの変化への対応」が50.0%、2位「生産設備の不足・老朽化」が40.0%、3位「人件費の増加」が30.0%となった。

上記項目の1位に選ばれた割合（対象企業が最重要視している割合）をみると、1位の「消費者ニーズの変化への対応」は45.5%と割合が高い。これに次いで、4位の「需要の停滞」「その他」（ともに18.2%）が、2位の「生産設備の不足・老朽化」と3位の「人件費の増加」を上回って、比較的高くなっている。

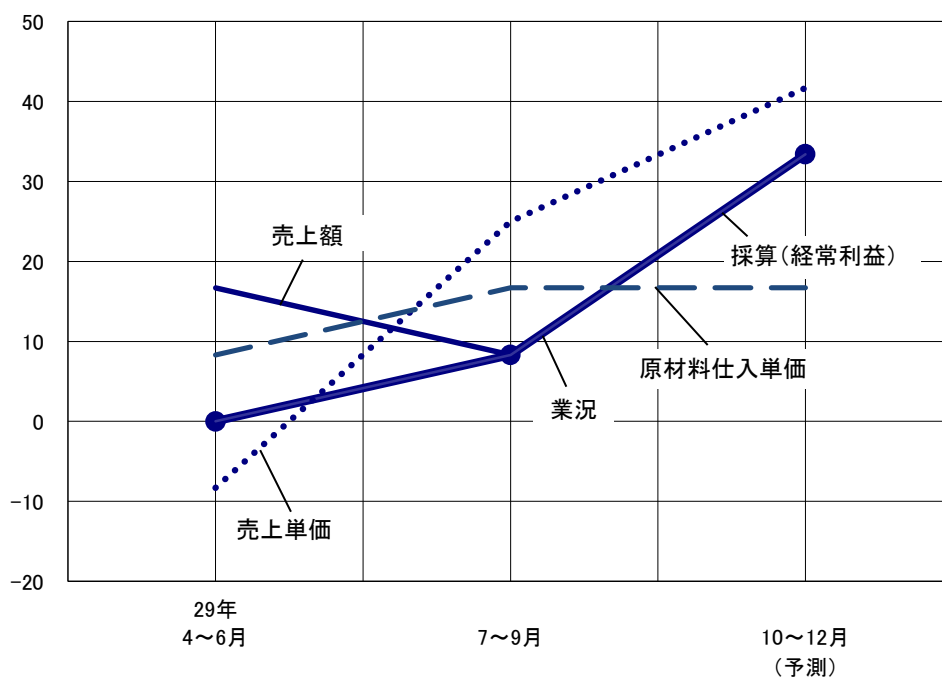
来期の見通し

来期は、業況は好調感が極端に強まり、売上額、採算（経常利益）はともに増加幅が特に大きく拡大すると予測されている。売上単価は上昇が大きく強まり、原材料仕入単価は今期同様の上昇幅で推移すると見込まれる。

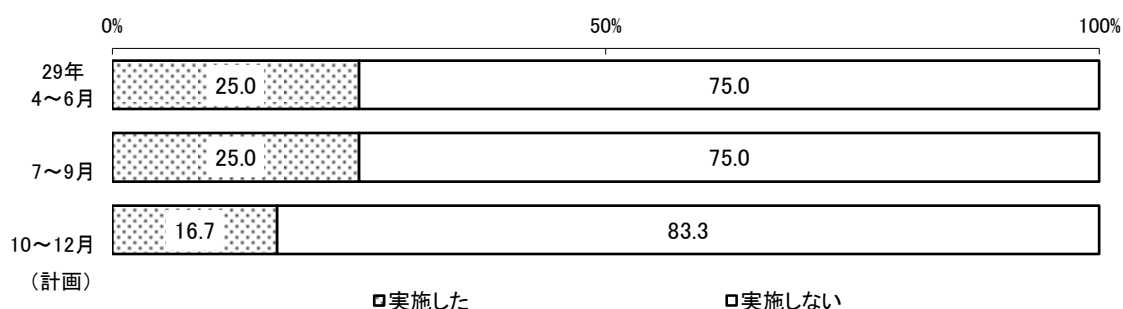
《注》

- ◆農業各D I 値の今期の状況は下記を参照している。
業況D I、売上額D I、採算（経常利益）D I、
売上単価D I、原材料仕入単価D I、資金繰りD I
：前年同期比
借入難度D I（長期資金借入難度、短期資金借入難度）
：前期比
- ◆来期の見通しは、上記項目と来期見通しの前年同期比の各種D I を比較している。

業況と売上額、採算（経常利益）、売上単価、原材料仕入単価の動き（実績）と来期の予測



設備投資動向（％）



経営上の問題点（％）

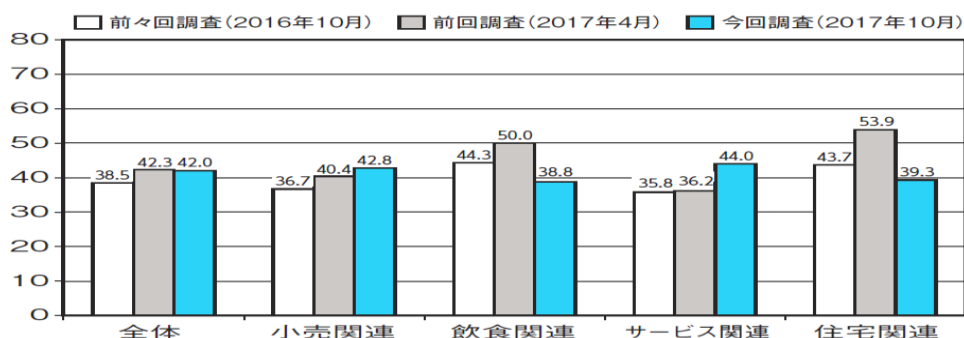
順位	29年4～6月期			29年7～9月期		
	問題点	全体 (%)	うち最も重要視している割合 (%)	問題点	全体 (%)	うち最も重要視している割合 (%)
第1位	消費者ニーズの変化への対応	50.0 %	50.0 %	消費者ニーズの変化への対応	50.0 %	45.5 %
第2位	生産設備の不足・老朽化	30.0 %	10.0 %	生産設備の不足・老朽化	40.0 %	9.1 %
	人件費の増加	30.0 %	10.0 %			
第3位	需要の停滞	20.0 %	20.0 %	人件費の増加	30.0 %	0.0 %
	購買力の他地域への流出	20.0 %	0.0 %			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	20.0 %	0.0 %			
第4位	原材料価格の上昇	10.0 %	0.0 %	需要の停滞	20.0 %	18.2 %
	取引条件の悪化	10.0 %	0.0 %	その他	20.0 %	18.2 %
	従業員の確保難	10.0 %	0.0 %	原材料費・人件費以外の経費の増加	20.0 %	9.1 %
				購買力の他地域への流出	20.0 %	0.0 %
				従業員の確保難	20.0 %	0.0 %
第5位				原材料価格の上昇	10.0 %	0.0 %

コメント《農業》

1. 所得補償の廃止、減反政策の廃止により収入の減少、米の販売状況の悪化が考えられるため収入が減少する不安がある。
2. ゲリラ豪雨等の天気急変による生育障害が多発し、生産量が減少した。
3. 商品の売単価を上げたことにより売上が上がる。
4. 前期と同じ内容。

参考資料

(1) Fukushima景気ウォッチャー調査



出典：(一財) とうほう地域総合研究所

(2) 福島県商工会連合会との比較

① 製造業

本調査結果は全ての項目でプラスとなり、福島県商工会連合会との比較では「売上高」「採算」で30ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 4.1	27.3	31.4
採算	▲ 12.2	18.2	30.4
資金繰り	▲ 10.4	0.0	10.4

② 建設業

本調査結果は「資金繰り」でプラスとなり、福島県商工会連合会との比較では、10ポイント以上上回った。一方「売上高」「採算」ではマイナスとなったが、同じく10ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 22.3	▲ 8.3	14.0
採算	▲ 22.2	▲ 8.4	13.8
資金繰り	▲ 5.7	9.1	14.8

③ 小売業

本調査結果は全ての項目でマイナスとなり、福島県商工会連合会との比較では、全ての項目で下回った。特に「採算」「資金繰り」では10ポイント以上下回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 49.9	▲ 58.4	▲ 8.5
採算	▲ 33.9	▲ 50.0	▲ 16.1
資金繰り	▲ 26.6	▲ 50.0	▲ 23.4

④ サービス業

本調査結果は「売上高」「採算」でマイナスとなった。福島県商工会連合会との比較では、「採算」「資金繰り」で10ポイント以上上回った。

項目	福島県商工会連合会	本調査結果	福島県商工会連合会との 対比
	実績	実績	
売上高	▲ 35.5	▲ 50.0	▲ 14.5
採算	▲ 29.5	▲ 10.0	19.5
資金繰り	▲ 15.0	10.0	25.0

製造業

企業景況調査 転記表 NO. 1

地域名:会津坂下町

平成29年7~9月期 1/2

中分類:業種合計

I 今期の状況

調査期		29年	29年	対
項目		4~6月期	7~9月期	前期比
今期の水準	業況(自社)	27.3	18.2	-9.1
	生産に対する原材料在庫	0.0	-10.0	-10.0
	売上に対する製品在庫	10.0	-10.0	-20.0
	採算(経常利益)	54.5	63.6	9.1
	引合い	27.3	36.4	9.1
	生産設備	-9.1	-9.1	0.0
	従業員(含臨時・パート)	-50.0	-30.0	20.0
前年同期比	売上(加工)額	18.2	27.3	9.1
	売上(加工)単価	0.0	0.0	0.0
	売上(加工)数量	27.3	36.4	9.1
	資金繰り	0.0	0.0	0.0
	輸出額	0.0	0.0	0.0
	原材料仕入単価	50.0	40.0	-10.0
	原材料在庫数量	20.0	20.0	0.0
	製品在庫数量	18.2	18.2	0.0
	採算(経常利益)	18.2	18.2	0.0
	従業員(含臨時・パート)	20.0	33.3	13.3
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	0.0
	設備操業率	30.0	40.0	10.0
	引合い	60.0	44.4	-15.6
受注残	10.0	25.0	15.0	
業況(自社)	27.3	50.0	22.7	
前期比	売上(加工)額	36.4	36.4	0.0
	売上(加工)単価	18.2	10.0	-8.2
	売上(加工)数量	36.4	27.3	-9.1
	資金繰り	-9.1	20.0	29.1
	業況(自社)	11.1	25.0	13.9
	受取手形期間	0.0	0.0	0.0
	長期資金借入難度	0.0	-16.7	-16.7
	短期資金借入難度(含手形割引)	14.3	0.0	-14.3
	借入金利	0.0	0.0	0.0

II 来期の見通し

前年同期比	売上(加工)額	0.0	18.2	
	売上(加工)単価	-9.1	27.3	
	売上(加工)数量	0.0	27.3	
	資金繰り	-9.1	0.0	
	輸出額	0.0	0.0	
	原材料仕入単価	20.0	40.0	
	原材料在庫数量	20.0	20.0	
	製品在庫数量	9.1	27.3	
	採算(経常利益)	-9.1	18.2	
	従業員(含臨時・パート)	0.0	11.1	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	
設備操業率	30.0	30.0		
業況(自社)	9.1	36.4		
今期比	業況(自社)	44.4	27.3	
	受取手形期間	0.0	0.0	
	長期資金借入難度	0.0	28.6	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	16.7	
	借入金利	0.0	0.0	
有効回答事業所数		11	11	

製造業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 2

平成29年7~9月期 2/2

調査期		29年	29年	対	29年	
項目		4~6月期	7~9月期	前期比	10~12月期 (予測)	
設備投資動向 (%)	実施した	9.1	18.2	27.3	9.1	18.2
	土地	0.0	0.0	0.0		0.0
	工場建物	0.0	0.0	0.0		50.0
	生産設備	0.0	100.0	66.7		50.0
	車両・運搬具	0.0	50.0	33.3		0.0
	付帯施設	0.0	0.0	0.0		0.0
	OA機器	0.0	0.0	0.0		50.0
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0		0.0
	その他	100.0	0.0	33.3		0.0
	実施しない	90.9	81.8	72.7		81.8
経営上の問題点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	製品ニーズの変化への対応	27.3	20.0			
	生産設備の不足・老朽化	18.2	20.0			
	生産設備の過剰	0.0	0.0			
	原材料価格の上昇	0.0	20.0			
	原材料の不足	9.1	0.0			
	人件費の増加	18.2	10.0			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	10.0			
	製品(加工)単価の低下・上昇難	18.2	10.0			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	0.0	0.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	0.0	0.0			
	熟練技術者の確保難	0.0	0.0			
需要の停滞	9.1	10.0				
その他	0.0	0.0				
特に問題はない	0.0	0.0				
経営上の問題点 (3位まで) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	製品ニーズの変化への対応	45.5	36.4			
	生産設備の不足・老朽化	45.5	36.4			
	生産設備の過剰	0.0	0.0			
	原材料価格の上昇	45.5	36.4			
	原材料の不足	9.1	0.0			
	人件費の増加	18.2	27.3			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	18.2	36.4			
	製品(加工)単価の低下・上昇難	45.5	36.4			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	0.0	0.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	18.2	36.4			
	熟練技術者の確保難	0.0	0.0			
需要の停滞	18.2	9.1				
その他	0.0	18.2				
特に問題はない	0.0	0.0				
有効回答事業所数		11	11			

小売業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 1

平成29年7~9月期 1/2

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	対 前期比
今期の水準	業況(自社)	-66.7	-58.4	8.3
	売上に対する商品在庫	33.4	25.0	-8.4
	採算(経常利益)	-41.7	-41.7	0.0
	従業員(含臨時・パート)	-30.0	-25.0	5.0
前年同期比	売上額	-91.7	-58.4	33.3
	客単価	-66.7	-50.0	16.7
	客数	-75.0	-50.0	25.0
	資金繰り	-66.7	-50.0	16.7
	商品仕入単価	50.0	25.0	-25.0
	商品仕入額	-8.3	-16.7	-8.4
	商品在庫数量	-33.3	-41.7	-8.4
	採算(経常利益)	-66.7	-50.0	16.7
	従業員(含臨時・パート)	-40.0	-8.3	31.7
	外部人材(請負・派遣)	-20.0	-12.5	7.5
	業況(自社)	-58.3	-58.3	0.0
前期比	売上額	-41.6	-25.0	16.6
	客単価	-50.0	-25.0	25.0
	客数	-58.3	-25.0	33.3
	資金繰り	-41.7	-41.7	0.0
	業況(自社)	-41.7	-40.0	1.7
	長期資金借入難度	-27.3	-27.3	0.0
	短期資金借入難度(含手形割引)	-33.3	-33.3	0.0
	借入金利	-9.1	0.0	9.1

II 来期の見通し

前年同期比	売上額	-50.0	-50.0	
	客単価	-58.3	-58.3	
	客数	-83.3	-58.3	
	資金繰り	-58.3	-58.3	
	商品仕入単価	33.4	33.4	
	商品仕入額	-8.3	0.0	
	商品在庫数量	-25.0	-33.3	
	採算(経常利益)	-41.7	-58.3	
	従業員(含臨時・パート)	-20.0	-16.7	
	外部人材(請負・派遣)	-16.7	-12.5	
	業況(自社)	-36.4	-36.4	
今期比	業況(自社)	0.0	-50.0	
	長期資金借入難度	-36.4	-45.4	
	短期資金借入難度(含手形割引)	-44.4	-33.3	
	借入金利	-9.1	0.0	
有効回答事業所数	12	12		

小売業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 2

平成29年7~9月期 2/2

注:各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目		調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	対 前期比	29年 10~12月期 (予測)	
設備 投資 動向 (%)	実施した		16.7	9.1	9.1	-7.6	25.0
	土地		0.0	0.0	0.0		0.0
	店舗		0.0	0.0	0.0		0.0
	販売設備		0.0	0.0	0.0		33.3
	車両・運搬具		100.0	100.0	0.0		33.3
	付帯施設		0.0	0.0	0.0		33.3
	OA機器		50.0	0.0	0.0		0.0
	福利厚生施設		0.0	0.0	0.0		0.0
	その他		0.0	0.0	100.0		66.7
実施しない		83.3	90.9	90.9		75.0	
経営上 の問題点 (1位) (%)	大型店・中型店の進出による競争の激化		25.0	25.0			
	同業店の進出		0.0	0.0			
	購買力の他地域への流出		25.0	25.0			
	消費者ニーズの変化への対応		0.0	0.0			
	店舗の狭隘・老朽化		0.0	0.0			
	駐車場の確保難		0.0	0.0			
	商品在庫の過剰		8.3	0.0			
	人件費の増加		0.0	0.0			
	人件費以外の経費の増加		0.0	0.0			
	販売単価の低下・上昇難		0.0	8.3			
	仕入単価の上昇		8.3	25.0			
	金利負担の増加		0.0	0.0			
	代金回収の悪化		0.0	0.0			
	事業資金の借入難		0.0	8.3			
従業員の確保難		8.3	8.3				
需要の停滞		16.7	0.0				
その他		8.3	0.0				
特に問題はない		0.0	0.0				
経営上 の問題点 (3位まで) (%)	大型店・中型店の進出による競争の激化		33.3	54.5			
	同業店の進出		8.3	0.0			
	購買力の他地域への流出		41.7	54.5			
	消費者ニーズの変化への対応		16.7	54.5			
	店舗の狭隘・老朽化		25.0	18.2			
	駐車場の確保難		0.0	0.0			
	商品在庫の過剰		8.3	0.0			
	人件費の増加		16.7	0.0			
	人件費以外の経費の増加		8.3	0.0			
	販売単価の低下・上昇難		33.3	27.3			
	仕入単価の上昇		33.3	36.4			
	金利負担の増加		0.0	0.0			
	代金回収の悪化		0.0	0.0			
	事業資金の借入難		8.3	18.2			
従業員の確保難		16.7	18.2				
需要の停滞		33.3	18.2				
その他		16.7	9.1				
特に問題はない		0.0	0.0				
有効回答事業所数			12	12			

建設業

企業景況調査 転記表 NO. 1

地域名:会津坂下町

平成29年7~9月期 1/2

中分類:業種合計

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	対 前期比
今期の水準	業況(自社)	-8.4	-8.3	0.1
	採算(経常利益)	25.0	8.3	-16.7
	引合い	-25.0	-9.1	15.9
	従業員(含臨時・パート)	-54.5	-54.5	0.0
前年同期比	完成(請負工事)額	8.3	-8.3	-16.6
	資金繰り	9.1	9.1	0.0
	受注(新規契約工事)額	8.3	-16.6	-24.9
	材料仕入単価	41.7	41.7	0.0
	採算(経常利益)	-25.0	-8.4	16.6
	従業員(含臨時・パート)	-33.3	-33.3	0.0
	外部人材(請負・派遣)	-10.0	0.0	10.0
	引合い	-9.1	9.1	18.2
	契約残(未消化工事高)	9.1	-30.0	-39.1
前期比	業況(自社)	-9.1	-18.2	-9.1
	完成(請負工事)額	-27.2	-9.1	18.1
	資金繰り	0.0	0.0	0.0
	業況(自社)	-11.1	0.0	11.1
	受取手形期間	-14.3	0.0	14.3
	長期資金借入難度	9.1	0.0	-9.1
	短期資金借入難度(含手形割引)	9.1	0.0	-9.1
	借入金利	0.0	-27.3	-27.3

II 来期の見通し

前年同期比	完成(請負工事)額	-18.2	0.0	
	資金繰り	-10.0	0.0	
	受注(新規契約工事)額	-27.3	0.0	
	材料仕入単価	36.4	45.5	
	採算(経常利益)	-36.4	-30.0	
	従業員(含臨時・パート)	-18.2	-27.3	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	12.5	
今期比	業況(自社)	-9.1	0.0	
	業況(自社)	-10.0	-10.0	
	受取手形期間	0.0	14.3	
	長期資金借入難度	0.0	0.0	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	
借入金利	-10.0	-20.0		
有効回答事業所数	12	12		

建設業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 2

平成29年7～9月期 2/2

調査期		29年	29年	対	29年	
項目		4～6月期	7～9月期	前期比	10～12月期 (予測)	
設備投資動向 (%)	実施した	33.3	18.2	16.7	-15.1	25.0
	土地	0.0	0.0	50.0		33.3
	建物	0.0	0.0	50.0		33.3
	建設機械	0.0	50.0	50.0		33.3
	車両・運搬具	100.0	50.0	0.0		0.0
	付帯施設	0.0	0.0	0.0		0.0
	OA機器	0.0	0.0	0.0		33.3
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0		0.0
	その他	0.0	0.0	0.0		0.0
	実施しない	66.7	81.8	83.3		75.0
経営上の問題点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	9.1	10.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	材料価格の上昇	0.0	0.0			
	材料の入手難	0.0	0.0			
	人件費の増加	0.0	0.0			
	材料費・人件費以外の経費の増加	9.1	0.0			
	請負単価の低下・上昇難	18.2	20.0			
	下請単価の上昇	9.1	10.0			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	0.0	0.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	18.2	30.0			
	熟練技術者の確保難	0.0	0.0			
	下請業者の確保難	0.0	0.0			
官公需要の停滞	36.4	30.0				
民間需要の停滞	0.0	0.0				
その他	0.0	0.0				
特に問題はない	8.3	16.7				
経営上の問題点 (3位まで) (%)	大企業の進出による競争の激化	9.1	10.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	材料価格の上昇	18.2	10.0			
	材料の入手難	0.0	0.0			
	人件費の増加	0.0	0.0			
	材料費・人件費以外の経費の増加	18.2	10.0			
	請負単価の低下・上昇難	27.3	30.0			
	下請単価の上昇	9.1	10.0			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	9.1	10.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	63.6	80.0			
	熟練技術者の確保難	36.4	50.0			
	下請業者の確保難	27.3	20.0			
官公需要の停滞	36.4	40.0				
民間需要の停滞	9.1	10.0				
その他	0.0	0.0				
特に問題はない	8.3	16.7				
有効回答事業所数		12	12			

サービス業
 地域名:会津坂下町
 中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 1

平成29年7～9月期 1/2

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4～6月期	29年 7～9月期	対 前期比
今期の水準	業況(自社)	-25.0	8.3	33.3
	採算(経常利益)	25.0	25.0	0.0
	従業員(含臨時・パート)	-33.4	-58.3	-24.9
前年同期比	売上(収入)額	-10.0	-50.0	-40.0
	客単価	-10.0	10.0	20.0
	利用客数	-20.0	-40.0	-20.0
	資金繰り	0.0	10.0	10.0
	仕入単価(材料等)	27.3	40.0	12.7
	採算(経常利益)	-18.2	-10.0	8.2
	従業員(含臨時・パート)	-18.2	-9.1	9.1
	外部人材(請負・派遣)	0.0	-20.0	-20.0
	業況(自社)	-9.1	-9.1	0.0
前期比	売上(収入)額	63.6	8.3	-55.3
	客単価	-18.2	16.7	34.9
	利用客数	45.4	16.7	-28.7
	資金繰り	18.2	33.3	15.1
	業況(自社)	40.0	27.3	-12.7
	長期資金借入難度	22.2	10.0	-12.2
	短期資金借入難度(含手形割引)	25.0	11.1	-13.9
	借入金利	0.0	-18.2	-18.2

II 来期の見通し

前年同期比	売上(収入)額	18.1	-9.1	
	客単価	0.0	36.4	
	利用客数	18.1	0.0	
	資金繰り	18.2	18.2	
	仕入単価(材料等)	18.2	72.7	
	採算(経常利益)	9.1	0.0	
	従業員(含臨時・パート)	-9.1	-18.2	
	外部人材(請負・派遣)	-12.5	-10.0	
	業況(自社)	27.3	9.1	
今期比	業況(自社)	36.4	-11.1	
	長期資金借入難度	11.1	22.2	
	短期資金借入難度(含手形割引)	12.5	12.5	
	借入金利	-20.0	9.1	
有効回答事業所数		12	12	

サービス業

企業景況調査 転記表 NO. 2

地域名: 会津坂下町

平成29年7~9月期 2/2

中分類: 業種合計

調査期		29年		29年		対	29年
項目		4~6月期		7~9月期		前期比	10~12月期 (予測)
設備 投資 動向 (%)	実施した	41.7		50.0	33.3	8.3	41.7
	土地	0.0		0.0	0.0		0.0
	建物	20.0		0.0	0.0		20.0
	サービス設備	20.0		16.7	25.0		20.0
	車両・運搬具	40.0		33.3	25.0		20.0
	付帯施設	20.0		0.0	25.0		20.0
	OA機器	0.0		0.0	25.0		0.0
	福利厚生施設	0.0		0.0	0.0		0.0
	その他	20.0		50.0	25.0		20.0
	実施しない	58.3		50.0	66.7		58.3
経営 上の 問題 点 (1位) (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0		0.0			
	新規参入業者の増加	0.0		0.0			
	利用者ニーズの変化への対応	22.2		11.1			
	店舗の狭隘・老朽化	22.2		11.1			
	人件費の増加	22.2		0.0			
	人件費以外の経費の増加	0.0		0.0			
	利用料金の低下・上昇難	0.0		0.0			
	材料等仕入単価の上昇	0.0		33.3			
	金利負担の増加	0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0			
	従業員の確保難	11.1		22.2			
	熟練従業員の確保難	22.2		11.1			
	需要の停滞	0.0		11.1			
その他	0.0		0.0				
特に問題はない	8.3		8.3				
経営 上の 問題 点 (3位) まで (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0		0.0			
	新規参入業者の増加	11.1		11.1			
	利用者ニーズの変化への対応	44.4		44.4			
	店舗の狭隘・老朽化	44.4		44.4			
	人件費の増加	22.2		11.1			
	人件費以外の経費の増加	0.0		0.0			
	利用料金の低下・上昇難	0.0		0.0			
	材料等仕入単価の上昇	22.2		44.4			
	金利負担の増加	0.0		0.0			
	事業資金の借入難	0.0		0.0			
	従業員の確保難	55.6		55.6			
	熟練従業員の確保難	22.2		22.2			
	需要の停滞	11.1		22.2			
その他	0.0		0.0				
特に問題はない	8.3		8.3				
有効回答事業所数		12		12			

農業

企業景況調査 転記表 NO. 1

地域名:会津坂下町

平成29年7~9月期 1/2

中分類:業種合計

I 今期の状況

項目	調査期	29年 4~6月期	29年 7~9月期	対 前期比
今 期 の 水 準	業況(自社)	0.0	16.6	16.6
	採算(経常利益)	8.3	33.3	25.0
	従業員(含臨時・パート)	-8.3	-8.3	0.0
前 年 同 期 比	売上額	16.7	8.3	-8.4
	売上単価	-8.3	25.0	33.3
	資金繰り	0.0	-8.4	-8.4
	原材料仕入単価	8.3	16.7	8.4
	採算(経常利益)	0.0	8.3	8.3
	従業員(含臨時・パート)	8.3	8.4	0.1
	外部人材(請負・派遣)	16.7	0.0	-16.7
	業況(自社)	0.0	8.3	8.3
前 期 比	長期資金借入難度	9.1	0.0	-9.1
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	0.0
	借入金利	0.0	0.0	0.0

II 来期の見通し

前 年 同 期 比	売上額	16.6	33.4	
	売上単価	8.4	41.7	
	資金繰り	16.7	8.4	
	原材料仕入単価	8.3	16.7	
	採算(経常利益)	16.7	33.4	
	従業員(含臨時・パート)	-8.4	16.7	
	外部人材(請負・派遣)	0.0	0.0	
	業況(自社)	18.2	33.4	
今 期 比	業況(自社)	-22.2	27.3	
	長期資金借入難度	0.0	0.0	
	短期資金借入難度(含手形割引)	0.0	0.0	
	借入金利	0.0	0.0	
有効回答事業所数		12	12	

農業

地域名:会津坂下町

中分類:業種合計

企業景況調査 転記表 NO. 2

平成29年7～9月期 2/2

調査期		29年	29年	対	29年	
項目		4～6月期	7～9月期	前期比	10～12月期 (予測)	
設備投資動向 (%)	実施した	25.0	25.0	36.4	0.0	16.7
	土地	0.0	0.0	0.0		0.0
	工場建物	0.0	33.3	25.0		0.0
	生産設備	33.3	66.7	50.0		0.0
	車両・運搬具	66.7	33.3	50.0		0.0
	付帯施設	33.3	0.0	0.0		50.0
	OA機器	0.0	0.0	0.0		50.0
	福利厚生施設	0.0	0.0	0.0		0.0
	その他	0.0	33.3	25.0		0.0
	実施しない	75.0	75.0	63.6		83.3
経営上の問題点 (1位) (%)	購買力の他地域への流出	0.0	0.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	消費者ニーズの変化への対応	50.0	45.5			
	生産設備の不足・老朽化	10.0	9.1			
	生産設備の過剰	0.0	0.0			
	原材料価格の上昇	0.0	0.0			
	原材料の不足	0.0	0.0			
	人件費の増加	10.0	0.0			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	9.1			
	代金回収の悪化	0.0	0.0			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	0.0	0.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	0.0	0.0			
	需要の停滞	20.0	18.2			
その他	10.0	18.2				
特に問題はない	8.3	8.3				
経営上の問題点 (3位まで) (%)	購買力の他地域への流出	20.0	20.0			
	新規参入業者の増加	0.0	0.0			
	消費者ニーズの変化への対応	50.0	50.0			
	生産設備の不足・老朽化	30.0	40.0			
	生産設備の過剰	0.0	0.0			
	原材料価格の上昇	10.0	10.0			
	原材料の不足	0.0	0.0			
	人件費の増加	30.0	30.0			
	原材料費・人件費以外の経費の増加	20.0	20.0			
	代金回収の悪化	0.0	0.0			
	金利負担の増加	0.0	0.0			
	取引条件の悪化	10.0	0.0			
	事業資金の借入難	0.0	0.0			
	従業員の確保難	10.0	20.0			
	需要の停滞	20.0	20.0			
その他	20.0	20.0				
特に問題はない	8.3	8.3				
有効回答事業所数		12	12			

調査の概要

1. 調査時期 平成 29 年 7 月～9 月
2. 調査方法 郵送アンケート調査および電話調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	12	11
小 売 業	12	12
建 設 業	12	12
サービス業	12	12
農 業	12	12
合 計	60	59

会津坂下町商工会
〒969-6553 福島県河沼郡会津坂下町西南字裏甲 4005-13
TEL 0242-83-3139